

GR-0600_pt ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・紀州鉄道キハ600形(当初仕様, 2016年3月発売の第22弾収録)
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット : 1個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

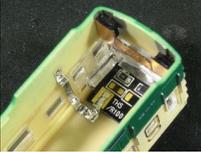
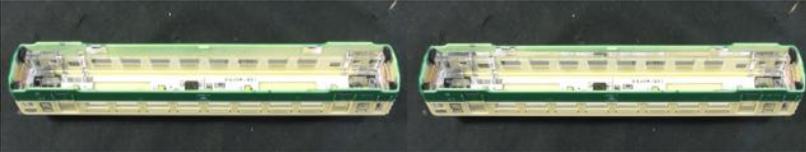
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼りしていると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面透明パーツを外す	1-4 ヘッドライトレンズを外す	2-1 前面透明パーツの加工	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓・妻面窓の順に窓ガラスを外します。	前面透明パーツは、楊枝などを使って、内側からテールライトを押し外して外します。	ヘッドライトレンズは、楊枝などを使って、内側から押し外します。きつくはまっており、飛ばして紛失しないよう注意します。	前面透明パーツを、前面窓の直上・直下で3分割します。テールライト部分は使用しないので保管します。	
2-2 ライトレンズを細くする			2-3 側窓を加工する		
ライトレンズの軸の部分をサンドペーパーで削り、ひとまわり細くします。			先端上部を2つ目の窓の上まで四角く、先端下部を最初の窓の角に接する45度の線で、それぞれ切り欠きます。		
			3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)		
			床板前端的両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。		
			3b. 動力ユニットの加工 (動力ユニットを組み込む場合)		
			動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付穴まで、線路方向はTNカブラーの台座までです。固定できなくなっているため、ゴム系接着剤などで固定します。		
4. ライトユニットを取り付ける					
(3bつづき)		4-1 車体を遮光する	4-2 遮光を補強する	4-3 ヘッドライトレンズの取付	
動力ユニットのフレームのうち、前項で切り欠いたスペーサーからはみ出る部分を削り取ります。		屋根、前面床板部及びヘッドライトレンズの穴の中を黒又は銀の塗料で塗装します。念のために、テールライトの周辺も塗装します。	2mm×5mmのポリエステルテープを用意し、ヘッドライトの溝部分から2つの突起の間に向けて、縦方向に貼ります。楊枝などを使って、ヘッドライトの溝になじませます。	次いで2mm×7mmのポリエステルテープを用意し、ヘッドライトの溝部分に、横方向に貼ります。楊枝などを使って溝になじませます。この段階でテスト点灯し、遮光の良否を確認します。	
		4-4 ヘッドユニットの取付	4-5 ヘッドライト周辺を遮光する	4-6 前面窓ガラスをはめる	4-7 テールユニットの取付
		ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。この段階でテスト点灯し、ヘッドライトレンズ周辺からの光漏れを点検し、必要に応じ補強します。	3mm×13mmのポリエステルテープを用意し、ライトユニット中央部と妻面の間に貼ります。	次いで、3mm×9mmのポリエステルテープを2枚用意します。前項の左右、ライトユニットのツバと妻面、乗務員室扉上の間に貼ります。	前面窓ガラスをはめます。緩い場合は、両面テープで固定します。
					テールライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。

5. 配線する				
5-1 側窓をはめる	5-2 ヘッドライトへ配線する	5-3 給電パッドの重ね貼り	5-4 テールライトへ配線する	5-5 給電パッドの重ね貼り
				
側窓をはめます。固定できなくなっているのを、両面テープで固定します。	1.5mm×約30mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下からテールライトの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。
5-6 側窓下の凸部にアルミテープを貼る		5-7 側窓下をアルミテープで結ぶ		
				
床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。 車体の四隅の嵌合部に貼ります。		室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。 3mm×105mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		

(5-7つづき)



ツメ部分のクローズアップです。

●テープを折り曲げながら貼る



L字形にテープを貼ります。

一边を貼ります。

曲がり角で、一旦反対側に曲げます。

向きたい方向に、再度曲げます。

よく押さえて完成です。

